

# 食の安全とリスクコミュニケーション

厚生労働科学研究を通じて

順天堂大学医学部

公衆衛生学教室

丸井英二

# 食物アレルギーから リスクコミュニケーションへ

- 平成13～14年度厚生労働科学研究費
  - 「食物アレルギーの食品表示の研究」
- 平成14年
  - “食品の表示制度に関する懇談会”
  - 8月(中間とりまとめ)
- 平成14年12月～現在
  - “食品の表示に関する共同会議”
- 平成15～16年度厚生労働科学研究費
  - 「食のリスクコミュニケーションに関する研究」

# 食品表示について言われてきた問題点

- リスク管理が一元化されていない
- 表示に関する法律が入り組んでいる
- 用語の統一ができていない
  - 賞味期限、品質保持期限
  - 消費期限
- 消費者のほしい情報が得られていない
  - 製造年月日、産地の表示など
- トレーサビリティが不十分
  - 消費者に開示されていない
  - 生産・流通が不透明
  - BSE(狂牛病)の発生とその措置
- 企業倫理が十分でない
  - 偽装表示事件の発生・再発